

## 小型電子機器内蔵リチウムイオン電池の事故に注意！

モバイルバッテリーの発火事故や、スマートフォンの発火事故が社会問題になっています。これらの事故では製品に内蔵されたリチウムイオン電池が原因の一つになっています。多くの小型電子機器でもリチウムイオン電池が使われていますので、取り扱いには注意しましょう。

### 〈リチウムイオン電池が使われている製品は？〉

リチウムイオン電池が使われている製品はノートパソコン、スマートフォン、モバイルバッテリー、電動アシスト自転車などの他にも最近では空調服や、充電して繰り返し使用する小型電子機器等に使用されています。



ノートパソコン



スマートフォン



モバイルバッテリー



デジタルカメラ



電動アシスト自転車



コードレス掃除機



電動工具



スマートウォッチ



ワイヤレスイヤホン



携帯用扇風機



ひげそり



加熱式タバコ



電動歯ブラシ



空調服等



### 〈何に注意したらいいの？〉

リチウムイオン電池を使用した製品では、取扱いを誤ると、発煙・発火・過熱に伴う火災事故等の原因となる場合があります。

1. 衝撃に注意： 落としたり、叩いたり、衝撃を加えない。
2. 高温に注意： 暑い日の車内等、高温になる場所に放置しない。
3. 変形に注意： リチウムイオン電池が膨らんだり、変形したりした場合は使用しない。



### 〈廃棄するときは？〉

リチウムイオン電池を使用した小型電子機器は、「もえるゴミ」として廃棄するとゴミ収集車やゴミ焼却場で火災になる場合があります。廃棄に注意しましょう。

1. 稲城市では 有害物のごみの日 に出す。
2. 各公共施設に設置されている「使用済み小型電子機器回収ボックス」に廃棄する。  
 ※ 膨張したリチウムイオン電池は 有害物のごみの日にお出しください。  
 ※ 充電式電池単体およびモバイルバッテリーはお出しできません。
3. パソコンや製品によっては廃棄方法が異なるので、

「稲城ごみ分別アプリ」を利用したり、  
 稲城市役所 都市環境整備部 生活環境課ごみ・リサイクル係に  
 廃棄方法を問い合わせたりしましょう。



ios



android

稲城ごみ分別アプリ

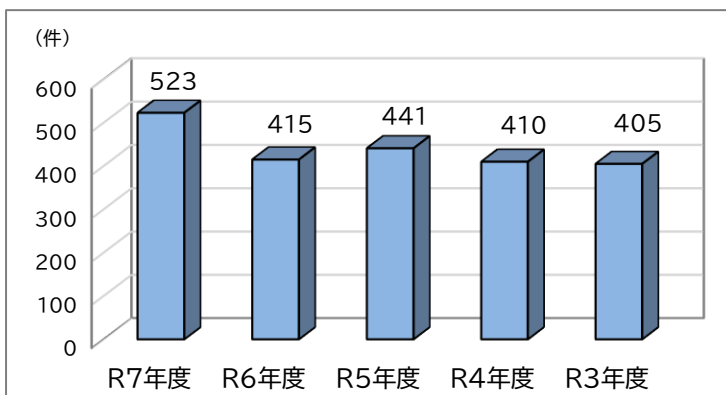
# 【令和7年度 消費者相談概要】



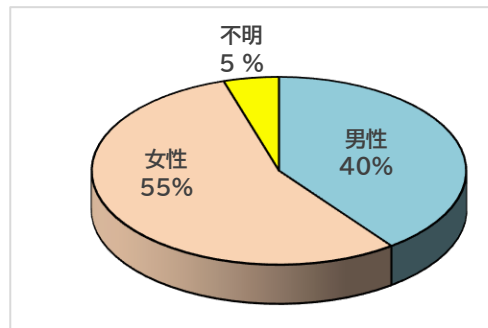
令和7年度に稲城市消費生活センターに寄せられた相談件数は523件です。全体の件数は昨年度比で108件増加し、26%増となっております

相談者の男女別構成を見ると、女性の割合が増加しています。今年度は、男性208人、女性290人、不明が25人でした。

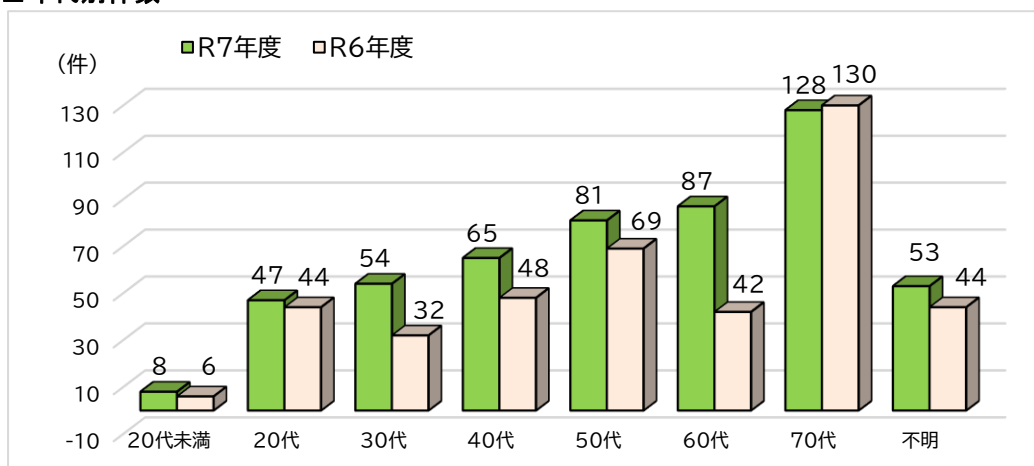
## ■相談件数の推移



## ■男女別受付状況



## ■年代別件数



※年代別構成では、70代の相談が最も多くなっており、高齢者を狙った悪質商法が増加していると考えられます。

## ■相談内容別件数上位5分類 (商品・サービス別)

1位	商品一般 51件 (クレジットカードの不正使用、不審な電話等)
2位	教養娯楽サービス 47件 (オンラインゲーム、コンサートチケット、ヨガ等)
3位	他の役務 43件 (ガス給湯器の点検、結婚相談所、宅配食等)
4位	教養娯楽品 41件 (ノートパソコン、音楽CD、ギター、時計等)
5位	保健衛生品 40件 (育毛剤、美容クリーム、電位治療器、衣料品等)

相談上位5分類をしてみると、商品一般に関する相談が最も多くなっています。「スマートフォンに+で始まる知らない番号から着信があり、電話に出たところ、法務省を名乗る内容で不審に感じた。」等の相談が寄せられています。

また、2位の教養娯楽サービスでは、「アーティストのコンサートチケット通常2万円のところ1万5000円で譲るという投稿をSNSで見た。ダイレクトメッセージで連絡を取り、個人名義の銀行口座に振り込んだが、その後連絡がとれない。」等といった相談が寄せられました。

おかしいと感じることがあった場合、まずは消費生活センターや全国共通の電話番号「消費者ホットライン」局番なしの188(いやや!)にご相談ください。

稲城市では今後も、「消費生活センターだより」の発行や消費者講座等を通じて注意喚起の発信をまいります。

### 【稲城市消費生活センター】

- ◆相談電話 042-378-3738
- ◆相談日 月曜日～金曜日(祝日除く)
- ◆相談時間 午前9時30分～正午  
午後1時～3時30分